

## 委員評価シート 主な自由意見

### 【経営課題 1】だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり

#### 経営課題 1 - 1 (地域共生社会の実現)

- 具体の取組みがあまり見えない。
- 目標より結果が上回っているから。ただし、目標値の設定が適当か否かが疑問に思う。
- それぞれ一定の相談件数があり、評価できる。一方、周知方法の強化をし続ける必要と、つなげ隊へのスキル向上の具体的な中身が不十分と感じた。
- 政策としては良いと思う。延べ数とは別に新規利用者数も増えるといいと思うので、さらなる情報発信をお願いする。
- まだまだ認知されていないと思うので、SNS などしない人もいるので、もう少し周知してもらいたい必要がある。

#### 経営課題 1 - 2 (健康づくりへの支援)

- 健康に対する関心は大きくとても良い取り組みであると思う。高齢者については、紙媒体での周知が必要。「口コミ」という術でしてくれる。この効果は大きいと思う。
- 町会の掲示板等でポスターの案内等をよく見かけるので、いろんな方が興味をもちやすいと思う。
- ウォーキングカレンダーをもう少しみんながわかる場所にも設置してみたり、他のイベントで配布したりして、健康に意識が向くような仕掛けを試行してみてはどうかと思う。
- もっと開催数を増やすことが必要。鶴見緑地、各地域の公園を活用したイベントを充実させる必要があると感じた。
- 民間団体、企業との連携が不十分と感じる。

### 【経営課題 2】子育てとまなびを応援するまちづくり

#### 経営課題 2 - 1 (安心して子育てできる環境づくり)

- 子育てに関する取組みは鶴見区は熱心だと思う。「愛 Love こどもフェスタ」「子育てサロン」(参加者少ないので)開催していない区もあるので。
- 子どもの居場所に関する取組みはこれからもっと活発になっていくと思う。大切な取組みだと思う。
- 保育ニーズは高いと考える。また、子どもをはぐくむ環境を整える必要はあると考える。一方待機児童の解消が進まない現状の下、本当にこのような施策が有効なのかわからない。(少なくとも自身にとっては活用した経験がない)
- すべてにおいて周知方法にまだまだ強化が必要、地域の企業にも協力を求め、子育て世

代への情報提供などもするべき。line@なども活用し、つるりっぷスタンプを広げ、数も増やす。

- 不登校、引きこもり、児童虐待ゼロを目標にするぐらいの政策強化が必要。具体的数字の目標が弱く感じた。
- 次世代、将来の日本、地域をつくりあげる子ども達を支えてゆくことは、非常に大切。

## 【経営課題3】まなびを応援するまちづくり

### 経営課題3-1（生涯学習）

- 学習を通じて多世代が交流できるようにしなければならない。
- 生涯学習は地域と連携することを目標として活動している。
- 生涯学習ルーム毎に（会場も各小学校）一日体験日を設定して広報つるみで告知する等バックアップしてはどうか。区内どこの学習ルームにも体験参加できるよう同日開催にならないような工夫も。

### 経営課題3-1（人権教育）

- 校下での学習会は多くの方が熱心に参加している。
- イベント参加者へのアンケートをQRコードから読み込んでも回答できるようにしたら手間が省けないか。
- 「ヒューマンシアター」事業内容がわからない。評価できる情報を持っていない。

### 経営課題3-2（教育支援の充実）

- もっと回数を増やしてもよいと思う。
- 学校現場の先生方が地域や民生委員に対しても連携を深めようと考えている事が理解できる。
- 個別指導つるみ塾はぜひもっと増やしてほしい。

## 【経営課題4】安全なまちづくり

### 経営課題4-1（災害に強いまちづくり）

- 継続した取組みにより防災意識は高まっていると思う。「安全・安心フェスタ」「つるみんピック」など新しい取組みにより防災を身近に感じられるよう思う。
- 各種活動は各地域活発である一方、参加者は毎年限定的である。町会にも帰属しない人が増える中、共助とはなにか考える取組みが必要と考える。（共助と公助を同一視している方も多いのでは？）
- 地域、諸団体との協力がかなめ。その点の強化が必要。若い世代へのかかわりを強化する工夫が必要。
- まだまだ防犯や防災に対して地域の方の認知度が低い気がする。パトロール隊も見守り隊も高齢化していて、なかなか若い人が参加してくれないということがあるので、もっと若い方達にも参加していただける取組みが必要。ツイッターやホームページを見

ない人もいるので広報紙以外も考えて認知してもらうことが必要。年配の方はそういうのされる人が少ないので。

- 各イベントは目的をアピールする上に大事な事業である。参加者をもっと増やすようにPRが必要と思う、又参加者の幅を（年齢幅）広げればと思う。
- 防災無線の内容を電話で聞いてみたが、スピーカーと同じ調子で流れるので、文字で見た方がいいと思う。内容を鶴見区ツイッターであげる等でもいいと思う。

#### 経営課題4 - 2（街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

- 色々な取組みが安全で住みやすいまちをつくるために寄与していると考えられる。
- 地道な活動の継続が地域の防犯安全に大きく貢献しているものと思っている。特に防犯カメラの設置等は地域に安心感と、事件が発生したときには効果が発揮している事例を多く聞いている。管理が4月より区役所に移管された事により、地域の負担軽減され、管理も充実したと思う。
- 振り込め詐欺、高齢者の方への特殊犯罪啓もうが弱い。
- 高校生はまだまだ自転車マナーが守られていない。啓発のやり方が工夫されればもう少し向上されるのでは。
- 高齢者は若者のマナーが悪いと言い、若者は高齢者のマナーが悪いと言う。結局、マナーの悪さは年齢ではないと思うので、マナーの悪い人を取り締まってもらう事も必要じゃないかと思う。

### 【経営課題5】区民への必要な情報の発信

#### 経営課題5 - 1（さまざまな媒体を活用した情報発信）

- 広報紙は読みやすく多くの人に関心を持っている。まちなかに設置してあるのも意味がある。
- 手にする工夫がされていると思う。

### 【つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、だれもが安心して暮ら

### せるまちの実現】に鶴見区の実践が有効であったと思いますか。

- 一つ一つの取組みが積み上げられて「だれもが安心して暮らせるまち」の実現につながると考えられるので。
- すべての事業が最後の区の目標に沿った内容である。
- 興味がある、ないに関しては仕方ないが周知はもっとしていければよいと思う。
- 意見に対する対応を区ホームページで公表